

米国の学会で発表 ベスト10題に選出

小布施の北村豊氏



信州口腔外科インプラントセンター（上高井郡小布施町）所長の

北村豊氏は、さきごろロサンゼルスで開かれた「AO (Academy of Osseointegration) 2018 Annual Meeting」で、eポスターを発表。優れた研究であるとして、207演題の中で上位10題に選ばれた。

新潟大学大学院の川瀬知之准教授との共同研究で「血小板濃縮材料中の血小板数の測定方法」について発表した北村氏は、その後の討論も流暢な英語で応

対。「再生医療に血小板濃縮材料がよく使われているが、品質を評価するためには、血小板数を知ることがポイントになる。国内だけではなく、研究が海外でも評価されたことに意義は大きい」と話している。

AOは、70カ国・6000人の会員を擁する世界最大級の国際インプラント学会。今回の大会には世界各国から約1500人が参加した。

発表後に英語で討論

する北村氏（中央）